



2025年度 美里町カタクリ自生地 現地調査

報告書

SMSCA 自然保護委員会

期 日 2026年3月23日
山 域 埼玉県児玉郡美里町円良田地区カタクリの自生地
参加者 埼玉県山岳・スポーツライミング協会 自然保護委員会
5人(千葉・秋庭・長谷川・吉田・堀江)
目 的 カタクリ自生地の現地調査及び美里町役場担当者との面談



今年のカタクリの花

ここ数年続けている美里町円良地区のカタクリ自生地の調査報告です。

昨年の調査では、少しずつ株が増えており今年の状態に期待を持って調査に入りました。

まず変わっていたのは、群生地に入る登山道入り口に新しい看板が設置されていたこと。登山者数調査のためのカウンターも設置されていました。また、自生地に向かう山道も新しいルートが作られており、より短距離で自生地に入れるようになっていました。自生地周辺にはルートに沿ってしっかりとした柵と、階段が設置されカタクリ自生地に安易に踏み込むことがないような配慮がされていました。

そして1年ぶりのカタクリは、昨年より確実に株数を増やしていました！！

もちろんかつての大群落には遠く及ばないですが、ここ数年に渡り観察を続けてきた私たちには、とても嬉しいことです。

現地調査後、美里町農林商工課を訪問。前年度までの担当者から代わり係長の飯島さんと面談しました。

まず、現地の登山道が整備されてことに感謝を伝えたところ、今年度から整備の予算が付き自生地周辺及びその先の登山道整備に着手しているとのこと。

私たち委員会の以前からの提言も少しは効果があったのでは・・・

町としては今後、虎ヶ岡城址から陣見山までの登山道整備を計画しており登山者・観光客の増加を期待しているとのこと。いずれにせよ自生地の保護に繋がるのは嬉しい動きです。

飯島さんは県内神町で取り組んでいるカタクリ増殖・保護の活動を参考にしたいとも話されていました。

行政が積極的に保護に向き合っていこうとする姿勢がみられ、私たち自然保護委員会の活動に手応えを感じることができた面談でした。

カタクリは種から花を付けるまでになんと6年～7年かかり、それまでは一枚葉のままゆっくりと成長します。一枚葉のカタクリたちが花をつけるまでこんなに長い時間を必要とするのですね。

委員会としては今後も商工課の方とともに美里町のカタクリ保護活動に関わっていきたいと考えています。

記：自然保護委員会 堀江伸子



2018年3月18日撮影
大群生地の頃

■ 3月23日調査時 現地の写真



登山口にコース案内版とカウンター新設置



新しい標識が何個も設置されていました



2025年3月撮影 登山道



2026年3月 今回撮影 一気に登山道整備される(美里町よる) 道幅が広がっている



少しは増えたカタクリの花と一枚葉 群生地にはまだまだです!



左斜面、右斜面に カタクリがあったはず!



新しい標識が増えた前にて撮影 このメンバーで調査を継続しています 花が増えたら皆様をご案内できることを...